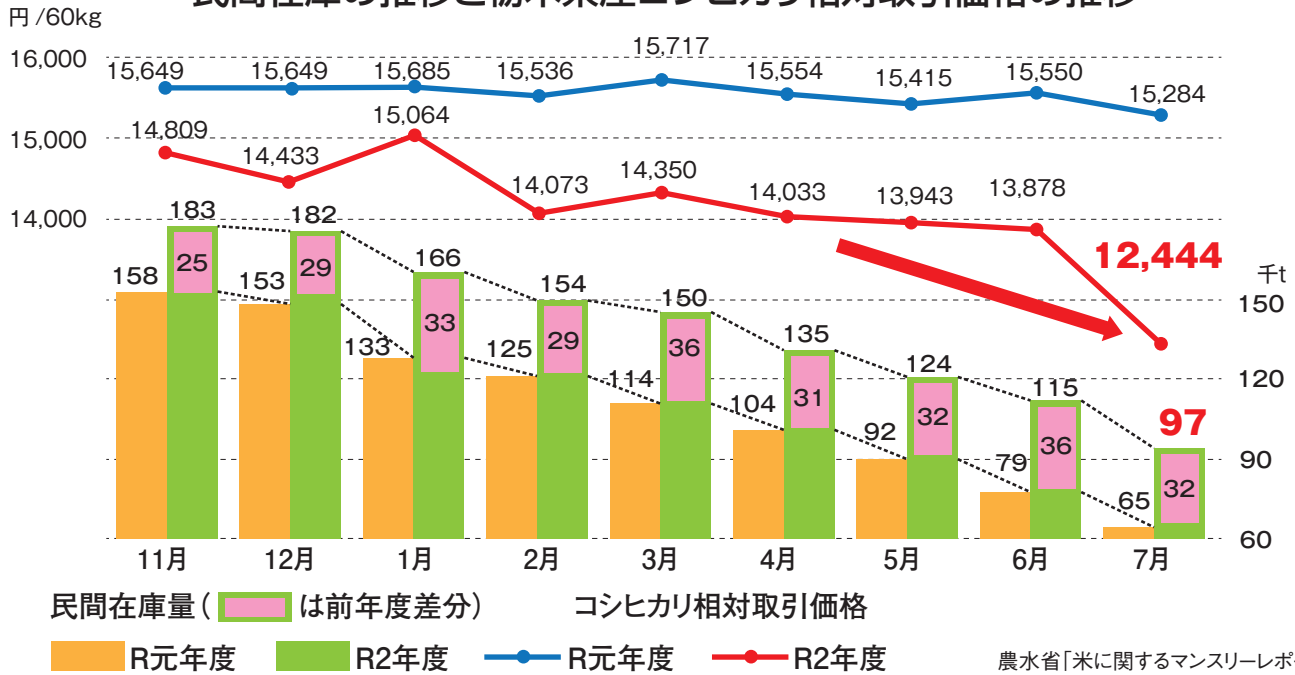


需給バランスの改善のため飼料用米等の非主食用米に作付転換しましょう!

栃木県の状況

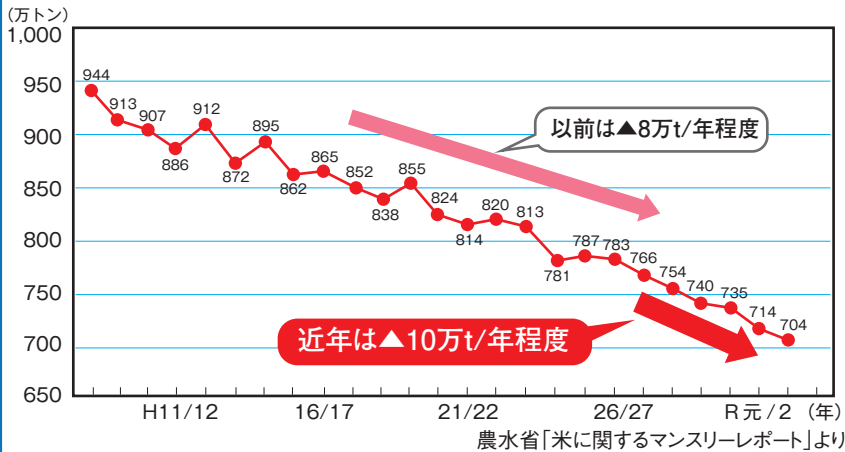
栃木県産米は在庫量が大幅に増加し、相対取引価格が下落
民間在庫の推移と栃木県産コシヒカリ相対取引価格の推移



農水省「米に関するマンスリーレポート」より

全国の状況

主食用米需要量が、年々右肩下がりで減少



米穀データバンクでは、
全国の作況は102で、
生産量が710万トン
以上になると推計

(7月末時点)

このままでは

米価の下落が止まりません

4年産の作付
どうしよう?



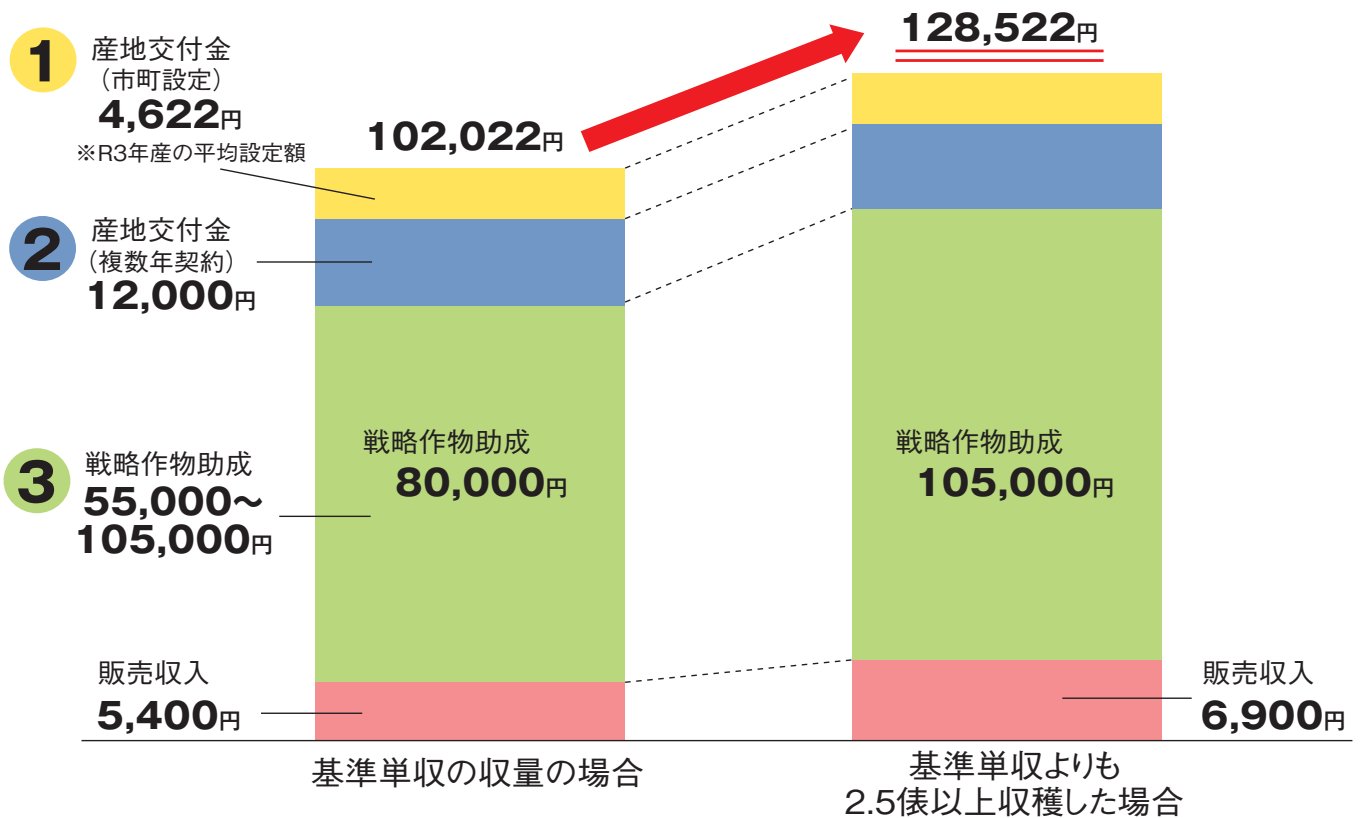
栃木県農業再生協議会

水田で取り組みやすい飼料用米を作りたい!

●各種助成を活用することで、主食用米並みの収入を得ることができます。

飼料用米の10aあたり収入目安

※R3年産の助成単価を基に試算しています。
R4年産については今後決定していきます。



飼料用米に対する主な支援内容

- 1 産地交付金(市町設定)...** 0~9,000円/10a
●市町が設定する生産性向上に資する取組に基づいた生産の場合
※市町(再生協)によって設定の単価が異なります。
- 2 産地交付金(複数年契約)...** 12,000円/10a
●実需者との既存の複数年契約(3年以上)に基づいた生産の場合
※R4年産の新規契約分については未定
- 3 戦略作物助成...** 55,000~105,000円/10a
●収量に応じて55,000円~最大105,000円(+150kg以上の場合)
※栃木県のR2年産飼料用米の平均交付実績額は83,030円

収量性が高い品種で、単収アップを目指しましょう!!